

よこはまユースレター

発行/公益財団法人よこはまユース
tel.045-662-3716 fax.045-662-7645
URL <https://yokohama-youth.jp/>
Eメール/ soumu@yokohama-youth.jp

2022年度子ども・若者エンパワメントセミナー報告

ヤングケアラー～気づき、つなげる～

2022年度の子ども・若者エンパワメントセミナーは「ヤングケアラー」をテーマに、大阪歯科大学教授の濱島淑恵（はましまよしえ）先生にご講演いただきました。ヤングケアラーの定義や現状、そして、ヤングケアラーのために地域の私たちができることについて理解を深める機会となりました。

(2022年11月24日/関内ホール小ホール)

ヤングケアラーとは

ヤングケアラーとは、日本ケアラー連盟によると「家族にケアを要する人がいる場合に大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子ども」のことを言います。ケアとは、家事や家族の世話、感情的サポートなど“お世話”全般を指し「大人が担うようなケアの“責任”を引き受けている」ことが普通のお手伝いとは違う点だと濱島先生は言います。

これまで各地で行われた調査結果から、ヤングケアラーは子ども・若者世代に4～6%程度いると推測されます。例えば感情的サポートは単に話し相手をしているだけでも見えるため、ケアをしているとは本人も周囲も気づかないケースが多く、こうしたことが「ヤングケアラーの“見えにくさ”」に繋がっていると言われます。

“ケア”することの影響は

濱島先生は「ケアを担うことで家族との絆や思いやりの心が育ったり、家事スキルが上がったり、自分に誇りを持てたりするなど得られるものも多く、ケア自体は決して悪いことではありません」と言います。一方で「過度なケアは学校生活や進学・就職の際に困難が生じたり、心身への負担が大きかったり、親が子を頼るようになり親子関係が逆転したりするなどのデメリットも生じます」と続けました。

地域の私たちができること

本セミナーの参加者の多くが地域で子ども・青少年を支える人たちでした。そのような参加者に対し、濱島先生から「地域の私たちができること」として次のメッセージがありました。

「ヤングケアラー＝しんどいかわいそうな子」という一方的な見方ではなく、彼らが頑張っている“価値”と“大変さ”の両面を理解してください。また彼らの背景にいる困難を抱えケアを要する家族への支援も必要です。そして、彼らと関わる際には程よい距離を保ちながらもアンテナをはり、彼らの話を否定せずに聞いてあげてください。もちろん必要に応じて適切に支援機関に繋ぐことも大切です。ぜひ周囲の大人みんなが彼らの心に寄り添い、彼らの味方になっていただければと思います。」



参加者からは「ヤングケアラーという言葉は耳にしていたが支援と現状について知らなかったので参加してよかった」「将来ヤングケアラーを支援したいと思っているので参考になった」という感想が寄せられました。この講演の要旨は『YOKOHAMA EYE' S 2022』に掲載します。

*子ども・若者エンパワメントセミナーについての問合せ先
TEL : 045-662-4170(事業企画課)

【報告】第61回「爆笑！濱っ子寄席」 ～ご来場ありがとうございました！～

本事業は青少年が健やかに成長するための事業を展開する寄附金の募集を目的としています。

今年も実行委員会の皆様、出演者の皆様をはじめ、多くの方にご支援・ご協力いただきました。

○出 演：柳亭市馬・三遊亭圓歌・柳家喬太郎
三増紋之助・柳家権之助 他



横浜市野島青少年研修センター

鎌倉から野島へ！『のじまオータムキャンプ』

(11月26日～27日)

初日は総行程約17kmのハイキングを実施しました。悪天候のスタートでしたが、子どもたちは元気に出発。瑞泉寺入口までは少し時間がかかりましたが、山に入ってからペースが上がっていきました。自然観察センターで昼食を取り、横浜市最高峰「大丸山」へ。雨も上がり、山頂での景色を見た後に、金沢動物園、六国峠を通り、金沢文庫駅に到着。ここから野島まで声をかけあいながら頑張って歩きました。

翌日は、野島公園散策、クラフト、鬼ごっこをみんなで楽しみました。雨のハイキングから始まった過酷なキャンプでしたが、子どもたちは常に元気で、大人たちが元気をもらいました。



青少年交流・活動支援スペース さくらリビング

2万人のランナーを応援！『スポーツボランティア』

(10月30日)

3年ぶりに開催された「横浜マラソン」に給水ボランティアとして参加しました。陸上部の中学生や元ランナーの高齢者、ボランティア初体験の家族など、青少年を中心に幅広い世代の26人が集まりました。次々と来るランナーへの給水サポートは大変でしたが、ボランティアそれぞれが手を振ったり拍手したりと充実した時間を味わうことができました。

「ランナーの励みになったかな？」「たくさんの人に感謝されて嬉しかった！」と話すボランティアに、元気や勇気をもらったランナーがたくさんいました。



横浜市青少年育成センター

“今の青少年”について学ぶ『青少年理解の基礎研修』

(9月20日～11月30日)

日頃から子ども・若者と関わりのある人が集まり、専門家や実践者の話を通して、今の青少年を取り巻く環境や課題について学びました。コロナ禍で3度目となる今回は、全日程を会場参加とオンライン参加を併用した形で実施しました。

「ヤングケアラー」や「オーバードーズ」など、近年注目を集めるテーマのほか「不登校支援」の回に多くの参加申込みがありました。コロナ禍における生活の変化が、子どもたちに与える影響について、より関心が高まっていることがうかがえました。



放課後キッズクラブ

英語教育プログラム『アンジー＆トニー』

(日吉南小放課後キッズクラブ/11月2日)

「英語を楽しいと思ってもらいたい！」そんな思いから実施したプログラムは、アンジーとトニーというキャラクターの自己紹介から始まりました。続いてハンバーガーショップの設定で、ハンバーガーやフライドポテト、ホットドッグ、オレンジジュースなど馴染みのあるカタカナ英語の発音に挑戦しました。

歌いながら体を動かしたり、4人同時に言った英単語を聞き取れるかをゲーム感覚で試したりと楽しく英語に触れることができました。初めは引っ込み思案だった子どもも次第に笑顔になっていました。



Thank you for your support.

ありがとうございました！

2022年8月1日から2022年11月30日までの寄附金

◆ユース賛助会費 47件 247,000円

◆一般寄附金 14件 145,139円

◆寄附金協力者(順不同、敬称略)

【団体】

ブックオフオンライン/横浜市退職小学校長会/横浜市健民少年団/(有)武牛乳店/野島 de コグニサイズ
三ツ境幼稚園/横浜信用金庫/柴町内会/京浜サービス(株)/西区ジュニアリーダーズクラブ
西区子ども会育成連絡協議会/横浜金沢八景ロータリークラブ

【個人】

美藤愛/山本亜紀子/椎野雅子/南部信治/片岡畔/片岡喜久江/田上恭孝/中村輝次/武久美子/橋本康正
池田加津男/沖津淑子/出口晴基/荒巻喜代子/雲井耀一/依節子/恩田幸一/古澤竜夫/松本小寿恵
須藤健三/川ノ邊直樹/橘川和夫/松本磨理江/下野坊和子/眞鍋明文/青山幸一/岳野万里夫/藤島栄子
川本正秀/三橋赫夫/関野修一/安田幸世/新庄茂 (2022-No.4)

【寄附金について】

個人住民税の税額控除が受けられます

〇お寄せいただいた「寄附金」は、確定申告等を行なっていただくことによって、税法上の優遇措置を受けることができます(募金箱除く)。

〇この度、所得税・法人税に加え、個人住民税(横浜市民税・神奈川県民税)の控除が受けられるようになりました。

*寄附金についての問合せ先
TEL : 045-662-3716 (総務課)

幼いころからのバイスターズ(ホエールズ)ファンで、シーズン中はハマスタに足繫く通っています。昨年は夏場にホームで17連勝を記録するなど一時は首位ヤクルトを4ゲーム差まで追いつけましたが、最後に失速、CSもファーストステージで敗退してしまいました。今年こそ1998年以來のVをと開幕を楽しみにしています。(まっきー)